

病床機能に関する平成26年度以降の病院・有床診療所の取組状況 (H27.12 健康福祉部医療推進課調査)

○佐久医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度(2014年度)から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	(床)	具体的内容
高度急性期	佐久総合病院佐久医療センター		DPC II 群病院取得に向けた医療体制の構築			
	佐久総合病院	平成26年3月の病院分割再構築により、当該機能は佐久医療センターに機能分化した				
急性期	佐久総合病院佐久医療センター	H26. 6. 16地域医療支援病院承認				
回復期	小諸厚生総合病院	H26. 9.1 地域包括ケア病棟 36床整備				急性期後リハビリ等必要な医療が提供できている。近隣診療所からの入院患者受入れの要望がある。
	佐久総合病院	平成26年11月より地域包括ケア病棟入院料を算定			40	
	医療法人雨宮病院	地域包括ケア病床の整備			5	
	佐久市立国保浅間総合病院			地域包括ケア病床50床		
	佐久総合病院小海分院	H26. 10地域包括ケア入院医療管理料1の届出			8	
慢性期		該当なし				
4機能とも該当なし 医療法人山月会小諸病院、金沢病院、くろさわ病院、佐久穂町立千曲病院、軽井沢町国民健康保険軽井沢病院 医療法人産科婦人科花岡医院、中澤眼科クリニック、博愛眼科クリニック						

○上小医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	（床）	具体的内容
高度急性期		該当なし				
急性期	丸子中央病院	救急科・総合診療科選任医師の配置 内科医（内視鏡センター）1名増員		一般病棟のうち50床を地域包括ケア病棟に転換することを検討	50	救急車搬送数は、平成25年度988→平成26年度1,146と増加している。
	上田市立産婦人科病院	H26.4.15から信州上田医療センターの分娩取り扱い再開に伴い2次医療までのハイリスク妊婦の分娩は圏内で完結				
	国立病院機構信州上田医療センター	地域がん診療病院の指定に向け、県の視察を受け、推薦を受けることとなった。	・地域がん診療病院の指定へ取り組み ・地域周産期母子医療センターとしての認定 ・救急部の設置		50	
	上田花園病院	26. 9. 1～地域包括ケア病棟25床、急性期病棟11床を整備 計36床			25	26年9月～地域包括ケア病床はほぼ満床状態
	国保依田窪病院		救急診療力の強化	小児の入院医療		緊急入院症例割合2014年前期38.1%、2015年前期35.2%、同規模病院と比較しても高く、地域に根ざした救急病院として運営している。
回復期	医療法人共和会塩田病院			回復期リハの導入		
	丸子中央病院			一般病棟のうち50床を地域包括ケア病棟に転換することを検討	50	
	鹿教湯病院	回復期リハビリテーション病棟196床保有		回復期リハビリテーション病床の適正数および転換内容の検討		
	東御市民病院		地域包括ケア病床を7月より8床で開始10月より2床増床		10	
	国保依田窪病院	地域包括ケア病棟 39床開設（平成26年10月1日）	急性期、緊急時の受け入れ	ケモ・緩和ケア、医療必要度の高いレスパイトケア等の受け入れを考慮して、増床（急性期からの転換）		懐の深い入院機能を持ち、地域包括ケアシステムの構築、生活支援のためのまちづくりに大きな役割をもつ。
慢性期	医療法人共和会塩田病院			地域包括ケア病棟への転換		
	丸子中央病院	介護療養病棟の施設基準を療養機能強化型Bとした	介護療養病棟の施設基準を療養機能強化型Aとなるように調整中	医療療養病棟を在宅復帰強化加算を算定できるように調整し、包括ケア病棟からの退院の受け皿とするのか、介護療養病棟を老人保健施設等に転換するのか検討を始める予定	97	
4機能とも該当なし 安藤病院、上田病院、三才山病院、小林脳神経外科・神経内科病院、千曲荘病院、メンタルサポートそよかぜ病院 あおやぎ眼科、上田腎臓クリニック、医療法人社団真征会池田クリニック、医療法人光仁会川西医院、上田生協診療所、医療法人秀栄会岸医院						

○諏訪医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	(床)	具体的内容
高度急性期	諏訪赤十字病院	NICU6床の整備・開設（ハイリスク分娩の松本への流出） PET-CT導入 鏡視下手術センター開設（がん医療）	こども病院との連携		6 8	NICU ICU
急性期	諏訪湖畔病院	脳卒中ケアユニット二次救急指定有				
	諏訪中央病院	地域包括ケア病棟40床整備(H26.10.1)		一般病棟から地域包括ケア病棟への転換(1病棟)		
	諏訪赤十字病院	院内助産の充実(2011年から) 鏡視下手術センター（がん医療）		パースセンターへの発展 DaVinci導入 放射線治療装置の複数導入 クリーンルーム・エリアの設置	28 22 46 11	産婦人科 血液内科 外科 泌尿器科
	諏訪共立病院	地域包括病床8床設置				
回復期	諏訪湖畔病院	地域包括ケア病棟の施設基準(26.10.1～)			10	現在の稼働率からみると、10床程度受入れが可能と思われる
	諏訪中央病院	回復期リハビリテーション病棟整備(H14より、現在40床)				
	富士見高原医療福祉センター富士見高原病院			地域包括ケア病床2床増床(全22床)(平成28年1月稼働開始)	18	約18床自圏域で対応可能
慢性期	諏訪中央病院	療養病棟をH10より稼働し、H27.4.1より医療型で45床稼働中		45床のうち一部を一般急性期に転換する可能性		
	富士見高原医療福祉センター富士見高原病院	神経難病特例病床増床			12	12床自圏域で対応可能
	土橋整形外科歯科医院	療養病床全床介護保険適用16床		病床減床	-16	検討中
4機能とも該当なし 祐愛病院、上諏訪病院、信濃医療福祉センター あおぞらレディス&マタニティクリニック、医療法人小池医院、ちの泌尿器科、平岡産婦人科、山崎医院						

○上伊那医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	（床）	具体的内容
高度急性期	伊那中央病院	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.5.25北棟建設工事実施設計契約締結。（リニアック、SPECTの更新、PET-CTの導入、健診センター、訪問看護ステーションの充実） ・H27.9.29リニアックの更新契約締結（IGRT、IMRTが可能に。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.9月北棟建設工事竣工。（リニアック、SPECTの更新、PET-CTの導入、健診センター、訪問看護ステーションの充実） ・H29.9月リニアックの更新完了。（IGRT、IMRTが可能に。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・OP室の増設。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、圏域内の放射線治療が必要な患者の当院での受け入れ状況は50%程度と想定されるが、これを80%程度まで引き上げることが期待される。
急性期	伊那中央病院	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.3月伊那中央病院中長期計画策定（H26.4月～H31.3月）高額医療機器等の計画的な更新 			10	<ul style="list-style-type: none"> ・健診センターの充実により、圏域外に流出していると思われる約3,000程の健診受診者の受け入れを目指す。これにより病床利用率の向上が見込める。
	町立辰野病院				10	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪圏域に流出している患者の一部は自圏域で対応可能となる。また、地域のかかりつけ医としての役割も大きく、介護施設との連携もある。
回復期	伊那中央病院	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期リハ病床への一部転換の検討。 ・H27.10.1伊那中央病院訪問看護ステーションを開設。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.4月に28床を回復期リハ病床に転換予定。 ・H29.9月の北棟完成に合わせて、機能強化型の訪問看護ステーションをスタート。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期リハ病床の増床の検討。 		
	町立辰野病院	地域包括ケア病床 20床運用			10	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の状況として、高度急性期及び急性期患者が諏訪圏域に流出しているが、急性期を脱した患者が戻ってくるための病床として必要。
慢性期		該当なし				
<p>4機能とも該当なし 昭和伊南総合病院、県立こころの医療センター駒ヶ根、医療法人保健同人会田中病院、上伊那生協病院、南信病院 齊藤診療所、菜の花マタニティクリニック</p>						

○飯伊医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	（床）	具体的内容
高度急性期	健和会病院	2014年10月HCU5床開設				
急性期	飯田市立病院		リニアックの整備		1~2	最新式のリニアックの導入により、圏域外からの患者流入が多少あると思われる。
回復期	社会医療法人栗山会飯田病院	平成26年9月 7対1看護の急性期病棟を地域包括ケア病棟に転換(52床)				
	健和会病院			2016年秋病床38→45床へ増床予定	7	急性期(7対1)を7床削減
慢性期	医療法人龍川会西澤病院	H26. 4. 1介護療養型医療施設指定更新				
4機能とも該当なし 医療法人輝山会記念病院、瀬口脳神経外科病院、下伊那赤十字病院、下伊那厚生病院、県立阿南病院 市瀬整形外科、慶友整形外科、椎名レディースクリニック、橋上医院						

○木曾医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	（床）	具体的内容
高度急性期		該当なし				
急性期	長野県立木曾病院	H28.4.1 圏域がん診療病院の指定(予定) □				がん入院患者の増が予想される
回復期		該当なし				
慢性期		該当なし				

○松本医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	(床)	具体的内容
高度急性期	信州大学医学部附属病院		包括先進医療棟（新棟）を建設し、ICU・HCU等の高度急性期病床の増床、手術室増室、化学療法病床増床（H30稼働予定）		15	手術室の増室に伴う手術件数の増加により、高度急性期病床の増床が必要であるが、各診療科の病床数の見直しを含め検討中である。
	相澤病院		①平成28年2月より救急病棟22床の整備改修工事開始 ②脳卒中ケアユニット入院医療管理料算定病床12床稼働中	A救命救急入院料2算定病床の増床 B特定集中管理料算定病床の増床 Cハイケアユニット入院医療管理料算定病床の増床	62	A6床→10床へ B4床→6床へ C8床→12床へ 救命救急センターとしての機能の充実と重症患者への高度治療の充実を図る
	丸の内病院			HCU病床4床を新設予定（急性期病床を転換）		下肢人工関節手術において両側同時手術例が増加し術後全身管理が高度化しているため
	長野県立こども病院		ICU病床を4床増床		4	地域病院で受け入れ困難な小児重症患者が当院に集中し、PICU（小児集中治療室）の病床数が不足する状況に対応する。
急性期	相澤病院		H28年2月1日相澤東病院42床開設に伴い相澤病院の許可病床数は502床から460床となる	特定入院料算定病床及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病床を除く348床を7対1入院基本料を算定する急性期病床とする	348	
	丸の内病院				4	急性期病床の内4床をHCUに転換する
	国立病院機構まつもと医療センター松本病院		H30年度に中信松本病院と一体地化。急性期病床325床（うち結核病床21床）		243	
	国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院	うち結核病床50床	H30年度に松本病院の地で一体地化。急性期病床325床（うち結核病床21床）		200	
	上條記念病院			慢性期病床へ	34	2025年の必要病床数推計値で松本医療圏慢性期が不足するため変更
	桔梗ヶ原病院	一般病棟41床稼働中			41	
	穂高病院	H26. 2月完成26床増床 お産医療対応として、レディス病棟31床新設				

回復期	相澤病院	H26. 6. 1回復期リハビリテーション病棟45床整備→H26. 7. 1回復期リハビリテーション病棟50床整備			50	
	城西病院	回復期リハビリテーション病棟30床整備		回復期リハビリテーション病棟を15床増床し45床とする	15	現在上小医療圏へ転院している患者のうち15床相当は松本圏域で対応可能と考える
	松本市立病院	H26.4.1 回復期リハビリ病棟 36床整備				
	桔梗ヶ原病院	回復期リハビリテーション病棟60床稼働中			60	松本圏域を中心として、諏訪圏域、上伊那圏域の患者の受け入れを行っている。
慢性期	城西病院	療養病床26床整備				
	国立病院機構まつもと医療センター松本病院		H30年度に中信松本病院と一体地化。慢性期病床150床			
	国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院		H30年度に松本病院の地で一体地化。慢性期病床150床		130	
	上條記念病院			介護療養病床を居住系施設へ	-58	
	桔梗ヶ原病院	療養病棟38床稼働中		療養病棟の増床(平成28年5月ころ)	38	急性期後の受け皿として検討している。
	塩尻協立病院	2014.9 在宅機能復帰強化加算の取得				
4機能とも該当なし 一之瀬脳神経外科病院、松本協立病院、松本中川病院、松本歯科大学病院、ミサトピア小倉病院、会田病院、松南病院、安曇野赤十字病院、豊科病院、倉田病院、村井病院、追分クリニック、柏原クリニック、医療法人やまだ眼科医院、(医)肛門外科渡辺医院、ひろおかさくらレディースウィメンズクリニック、神谷小児科医院、緑ヶ丘青木医院、医療法人(社団)あづみ野眼科、松塩クリニック透析センター、医療法人山本耳鼻咽喉科						

○大北医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	(床)	具体的内容
高度急性期	北アルプス医療センターあづみ病院			HCU病床の設置(受入体制が整い次第)	6	松本医療圏等に流出している急性心筋梗塞等、循環器疾患患者の受入、その他時間外等救急患者の受入及び術後管理体制が充実
急性期	市立大町総合病院	26年10月に脳神経外科医師1人を招聘し、脳卒中の診療を担っている信州大学医学部附属病院総合診療科の研修病院に指定され26年7月から入院診療を行っている	脳神経外科常勤医の複数化を図るため医師確保対策を進めている指導医2人、研修医1人の派遣を受け、臨床研修の充実を図っている		20	27年4～11月脳神経外科入院患者数15.7人(1日平均数)27年度における総合診療科入院患者数の増加(院内の内科医師が減少しているため、内科全体の患者数は増加していない)
	北アルプス医療センターあづみ病院	①循環器内科医の増員1→2名、不整脈治療等の実施 ②医師確保等による手術等の増(整形・泌尿器科)	①循環器内科医の増員2→3名、心臓カテーテル検査・PCI手術等の実施 ②医師確保等による手術等の増(整形外科・外科・泌尿器科等)	③H28.3～新病棟への緩和ケア病床機能整備	①②19 ③14	①急性心筋梗塞等、循環器疾患患者の受入増 ②整形、外科、泌尿器科の新規入院患者数の増
回復期	市立大町総合病院	28年1月1日地域包括ケア病棟48床を整備			10	松本医療圏等に転院している回復期患者は自医療圏で対応可能となる
	北アルプス医療センターあづみ病院	H26.10.1 地域包括ケア病棟46床稼働				
慢性期	市立大町総合病院	26年11月から療養病棟を10床増床し60床とした			10	当医療圏は、療養病床が少ない医療圏であり、流出の抑制につながる
4機能とも該当なし 医療法人狩谷整形外科医院、神城醫院						

○長野医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	(床)	具体的内容
高度急性期	厚生連長野松代総合病院		HCU病床を12床から24床に増床(H28.3稼働予定)			
	厚生連篠ノ井総合病院	・平成27年5月より(新)本館棟運用開始、救命センターの充実を図った ・平成27年6月16日地域医療支援病院承認		地域救命救急センター取得	41	地域救命救急センター取得により、さらに広範囲の重篤な救急患者を受け入れることが可能となる
	長野赤十字病院	1.救急医療の充実 ①ヘリポート建設(2014年7月) ②320列CTの設置(2015年1月)	1.救急医療の充実 ①不整脈診療科部の設置 2.がん治療体制の充実 ①高精度放射線治療センターの開設 ②SPECT/CTの設置。2015年4月稼働予定 ③ライナック2台体制	1.高度医療の充実 ①リウマチセンター開設を検討 ②TAVI(TAVR)実施体制を検討 2.分娩体制の充実 ①院内助産体制の充実 ②陣痛室・分娩室(LDR)改修		
	長野中央病院	2014.10.1 HCU 新開設			8	救急入院患者の受入が高まった
急性期	厚生連長野松代総合病院		急性期病床12床を高度急性期病床に変更(H28.3変更予定)			
	長野県立総合リハビリテーションセンター	・総合リハビリテーションセンターの今後のあり方検討会		病院の建て替え	40	
	厚生連篠ノ井総合病院	・平成27年5月より(新)本館棟運用開始、療養環境の充実を図った ・平成27年6月16日地域医療支援病院承認			392	2015年10月末で、紹介患者件数前年比109.2%、救急車搬入数前年比103.5%といずれも増加している
	竹重病院	H26. 4. 1地域包括ケア病床の立ち上げ	・在宅療養患者急性期の受入れ ・ポストアキュート患者の受け入れ	在宅療養患者あんしん病院登録制度の構築	10	現在10床で運用しているが稼働率が向上しており、増床を検討
	千曲中央病院				-40	急性期病床稼働112床を72床にする
	特定医療法人新生病院	DPC準備病院届出(H27. 9. 1)				北信医療圏からの救急患者の受入れ枠の拡大

回復期	長野県立総合リハビリテーションセンター	・総合リハビリテーションセンターの今後のあり方検討会 ・回復期リハビリテーション検討会		病院の建て替え	40	回復期リハビリテーション病棟の届出をせずに回復期の機能を果たす
	竹重病院	回復期リハビリテーション病棟(30床)体制強化加算	地域連携パスの運用			
	厚生連新町病院	平成26年度からではないが、地域包括ケア病床(旧亜急性病床)24床を整備	平成22年から回復期リハ病棟基準取得を目標にリハビリスタッフを増員 現時点で総勢29名が在職(PT17名、OT9名、ST3名) 専任医師および患者紹介状況に課題があるため回復期リハ病棟基準取得にいたらない	一般病棟42床(うち地域包括ケア病床24床)を回復期リハ病棟の施設基準取得	5 または 23	現行の地域包括ケア病床であれば1日平均入院患者数が19名のため5床程度の受入れが可能である 回復期リハ病棟の取得に至ることができれば院内での機能分化をはかり、23床分のベッドが確保できる
	長野県立須坂病院	地域包括ケア病棟 46床を開設(平成26年8月)			46	地域包括ケアシステムの構築に向け、急性期を脱した後の積極的な在宅復帰機能を整備した。
	長野寿光会上山田病院			慢性期病床20床を地域包括ケア病床に転換を検討	20	現在は上小医療圏へ転院している回復期患者のうち20床相当は自圏域で対応可能となる。
	千曲中央病院			回復期リハビリテーション病棟40床の整備		
	特定医療法人新生病院	リハビリテーションセラピストの増員によるリハビリ提供単位数の増加		他の医療圏への回復期患者の流出防止		
慢性期	社会福祉法人賛育会豊野病院			介護療養病床42床の用途変更を検討している。医療圏毎の介護事業の必要ベッド数が決定されるのが2018年3月となっているため、今後の用途変更の具体的な作業がすすめられない。		医療療養病床(18床)に入院している患者はほとんど、介護病床(42床)の半数が、北信医療圏の患者であり、北信医療圏で療養病床、介護対応病床が開設されると、この病床の用途変更が必要となる。
	長野寿光会上山田病院			20床を地域包括ケア病床に転換を検討	20	
	特定医療法人新生病院			在宅復帰機能強化加算の届出		
	飯綱町立飯綱病院			介護病床廃止に伴う21床分の転換先の検討中。	-21	介護病床の転換
4機能とも該当なし 長野市民病院、北野病院、小林脳神経外科病院、東口病院、東和田病院、吉田病院、轟病院、山田記念朝日病院、小林病院、信濃町立信越病院、独立行政法人国立病院機構東長野病院、医療法人篠ノ井橋病院、長野松代総合病院附属若穂病院、朝日ながの病院、医療法人信愛会田中病院、清水産婦人科医院、島田医院、(医)おおくぼ眼科長野クリニック、島田内科クリニック、医療法人鈴木泌尿器科、中澤ウィメンズライフクリニック、医療法人あけぼの会鳥山眼科医院、ひまわりレディースクリニック、医療法人彦坂医院、医療法人池田眼科、産科婦人科矢嶋医院、医療法人裕生会丸山産婦人科医院、中川産婦人科医院						

○北信医療圏

機能区分	医療機関名	平成26年度（2014年度）から現在までに実施済の取組	具体的にになっている今後の取組予定		影響のある病床数	
			既に開始している取組	実施を検討している取組	(床)	具体的内容
高度急性期		該当なし				
急性期	北信総合病院	H27.4.1地域がん診療病院の指定				
	飯山赤十字病院	平成4年4月へき地中核病院指定			20	DPC病棟7:1病棟が施設基準の変更で基準外になることが考えられる
回復期	北信総合病院			慢性期からの転換を視野に入れ検討を行う予定。	40	
	飯山赤十字病院	・平成15年6月回復期リハビリテーション病棟開設60床 ・平成26年6月地域包括ケア病棟開設60床				
慢性期	北信総合病院	H26.10.1療養病床38床整備		回復期への転換を視野に入れ検討を行う予定。	-20	
	飯山赤十字病院	平成27年7月医療療養病棟開設44床			44	
4機能とも該当なし 関整形外科、保倉産婦人科医院						

地域医療構想の策定に向けた医療機関の実態調査回収状況

(平成28年3月1日現在)

医療推進課

医療圏	調査対象			回答数	回答率
	病院	有床診療所	計		
佐久	14	5	19	14	73.7
上小	16	12	28	20	71.4
諏訪	12	10	22	14	63.6
上伊那	10	4	14	9	64.3
飯伊	10	4	14	13	92.9
木曾	1	0	1	1	100.0
松本	27	20	47	33	70.2
大北	2	3	5	4	80.0
長野	35	23	58	41	70.7
北信	3	2	5	4	80.0
計	130	83	213	153	71.8